

第28回神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆今回は受方から指し始める

「受先形式」の特集。ルー

ルのシンプルさと、入門に

適した①②のおかげで解答

者44名の大盛況でした。

①ばか詰 4手 (受先)

神無三郎

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				馬					一
									二
					王				三
									四
								王	五
									六
									七
									八
				馬					九

持駒 飛

33金、43飛、35玉、25馬

迄4手。

八尋久晴―逆王手からのスタ

ートとは恐れ入りました。

3手目もしっかり限定。う

まい。

上谷直希―初手が反則手のよ

うで発見が難しい。

☆受方には攻方と違って初手

の王手義務がありません。

従って自由に指せる初手が

重要な一手となります。

☆本作の初手は33金(逆王手)。

ばか詰では攻方の自由度を

増やす手が良い手であるこ

とが多いので、盲点に嵌っ

た方も多かったです。

須川卓二―飛の打ち場所限定

の為の42角だが、初手に味

を持たせて見事としかいい

様がない。

砂川順一―3手目34玉とばか

り思ってた悩んでいた。

☆意外に解答者の言及が多か

つたのが3手目35玉。馬・

玉・飛が斜めに並んだきれ

いな詰型に惹かれるせいか、

地味な35玉が第一感で浮か

ばないようです。これは理

屈ではなく感覚的なものな

ので作者も予想できなかった

と思います。

☆まずは初手逆王手を簡潔に

表現した、受先特集の冒頭

にふさわしい佳作でした。

②ばか詰 6手 (受先)

神無太郎

	6	5	4	3	2	1	
							一
							二
							三
					王		四
					王		五
					王		六
							七
							八
							九

持駒 香

19飛、18香、17桂打、同香

同飛生、28桂迄6手

千葉肇―桂が欲しいが、八段

目には打てない。

☆まず初手を保留して攻方の

手番として考えます。する

と「桂は欲しいけど玉は動

かしたくない」と感じるで

しょう。次に受先の初手を

利用してこの問題点を解消

することを考えれば正解が

見えてきます。

ほの字―最強の駒を逆用する

とはうまい。

中沢照夫―この飛車打ちは兵

力増強ではない。玉にフタ

をするための手。

☆初手19飛が何とも気持ちの

良い限定打。駒を裏返しで

打てるルールと混同したの

か、初手28成桂打の誤解が

数通ありました。神無太

郎氏は「次に成桂を作る

ように桂を配置する」とい

う筋の受先作品も発表して

おり、着眼点自体は鋭いと
思います。

原雅彦―この作品を成立させる
為に作られたルールみた
い。

☆本作に限らず「受先」にす
ることによってスマートに
仕上がる素材はたくさんあ
ると思います。皆さんもご
自分のネタを「受先にした
らうまくいくかも」という
観点で見直してみたいか
がでしょうか？

③詰将棋 34手(受先)
神無八級

6	5	4	3	2	1	
	角			皇	将	一
			将	卒		二
				マ	王	三
		飛		桂	将	四
			卒	銀	角	五
				龍	香	六
					マ	七
						八
						九

持駒 銀
34桂、14銀、同玉、25銀、

13玉、12桂成、同玉、42角行生
16と、同龍、14歩、同龍、

同と、13歩、同と、24桂、
同と、13歩、同玉、24角生、
23玉、34銀、12玉、23銀成

同銀、13角成、同玉、25桂、
12玉、14飛、同銀、13歩、
23玉、33角成迄、34手。

清水大昌―34に何か打つしか
ないのは分かったので、一
つずつ試してみました。制
約がある中でも華麗な手順
になっていますね。

☆受先で初手が自由に選べる
とは言っても、44飛の利き
が非常に強力なので、まず
はこれを防がなくてははいけ
ません。打歩絡みの局面で
あることから、34桂は割と
分かり易かったと思います。
小島幸喜―初手は見当がつき
ますが、42角上生が素晴ら

しいです。大駒二枚を消す
収束もいい感じですよ。

☆8手目42角行生のところ、
成ってしまうと打歩詰。33
角生だと後の24桂に対して

23玉で詰みません。ここを
乗り越えれば、駒がきれいに
捌け、非限定も24手目の

成・不成だけという気持ち
良い収束が待っています。

今川健一(抜粋)―短大なら
半期賞？ 少し、お世辞。
☆半期賞はともかく、短大で
も普通に好評を得られそう

な作品だと思ったのですが、
次の短評を見て愕然：
駒井信久―例の手筋でおそ
く変長。

〔変長〕9手目16との代わり
に14歩、同香、同と、24桂、
同と、17龍、14と、同龍、
13歩以下2手長駒余り

☆いわゆる「ヤケクソ中合い」
の14とを完全に見落としま
した。指摘は駒井氏のみ。

普通の詰将棋としても充分
通用する素材を、敢えて受
先形式にして投稿して戴い

た八級氏にも申し訳ないこ
とをしました。

④最悪詰 44手(受先)
北村太路

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			卒					王	三
馬			歩			歩			四
銀	卒	卒		歩					五
金	桂	歩	卒	卒	桂		香		六
将					香		皇		七
卒						卒	卒		八
龍			馬	香	龍				九

持駒 なし
88金、19龍、15歩、同龍、
同玉、16歩、26玉、59馬、
48香、同馬、37桂、同馬、

36歩、56角、58玉、47角

成る程。

59玉、48角、68玉、59角、

☆初手の効果が最終手に表れる作品です。難解作を目指すなら、収束の入り口あたり

67玉、58角、56玉、47角、

りにさりげない伏線を入れた方が良くと思うのですが、

55玉、37角、46歩、同角、

本作では初手と最終手が対応する形式美を取りました。

66玉、55角、67玉、58角

小島幸喜―角のキャッチボールが楽しい作品。一見非効率

同玉、59歩、同玉、37角

率な出だしが効率的な手順を生む不思議さが面白いです。

48角、同角、同玉、26角

某氏（68手解）―最終形を見つけたと思いい解いてみましたが、72手からここまです。

37角、同角、同玉、59角

精一杯。

48角、同角、46玉、37角

☆初手の選択肢は意外と狭いの3つしか候補がないので、解答者を悩ませたのは主に49とを取るタイミング

56玉、38角、67玉、49角

でした。49とは後でも取れるので、4手目67角ではなく47角として39角の活用を優先する方が早いのです。

66玉、55角、同玉、56歩、

増田智彬―55に何も利いていないことに気付くのに1日かかりました。無いと余詰むのでしょうけど…意地悪。

同玉、38角、47角、同角

☆確かに55歩はパツと見だと壁の中の1枚に見えますね。

67玉、49角、58歩、同角引

ひよっとしてこれが解答者を悩ませた本当の要因？

56玉、38角、47歩、67角、

【総評など】

同玉、49角、58角、同角

安原嗣治―いつもと違う「受先形式」ですが、今回が始めてです。何とか3題は解きました。

46玉、55角迄66手。

☆今回の解答者数44が物語るように、「受先形式」は初めての方にも親しみやすいルールだと思えます。今回の特集で「受先形式」に興味を

今川健一―「The Murder of Roger Ackroyd」、かな。遠大な伏線、最後にその効果が現れる。「探偵は、皆を集めて、おつと言ふ」、解き手、

☆初手の効果が最終手に表れる作品です。難解作を目指すなら、収束の入り口あたり

りにさりげない伏線を入れた方が良く思うのですが、

本作では初手と最終手が対応する形式美を取りました。

小島幸喜―角のキャッチボールが楽しい作品。一見非効率

率な出だしが効率的な手順を生む不思議さが面白いです。

持たれた方は、ぜひお話しになってください。

【解答成績】（太字5名当選）

【全題正解】今川健一、

駒井信久、須川卓一、市村道生

【4題】福高将棋部、

小島幸喜、増田智彬

【3題】清水大昌、飯山修、天六辰年、赤井秀雄

【2題】安原嗣治、市川樹生、

原岡望、小峰耕希、佐藤宣多、

佐藤善起、山口勇、八尋久晴、

林八江子、弘光弘、宮本慎一、

原雅彦、上谷直希、片桐正二、

佐々木寛次郎、河原林隆彦、

大橋雅道、小岩象三、千葉肇、

ほの字、砂川順一、高橋達也、

竹中歩美、中沢照夫、中嶋智志

秋元節三、天津包子

【1題】藤川薫、小坂真也、

中島美由、福元千誠

【0題】伊東史郎、市原誠